

■ 多様化・豊かさの時代

都心居住・再開発

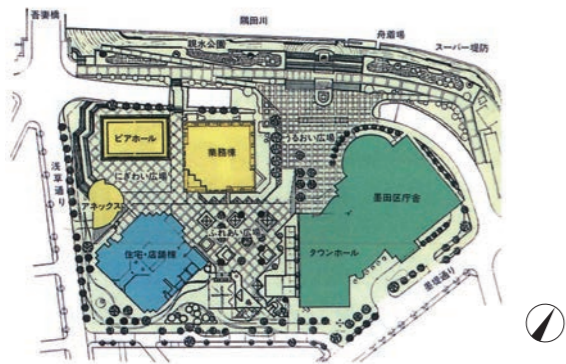
都心部への人口呼び戻しのための臨海副都心開発が新たな都市政策となり、隅田川や東京湾沿いの親水化や居住環境改善などに取り組んだ。

この頃は都市型成熟社会への移行期でもあり、都心部における定住人口の回復というニーズの高まりを受けて、都市機能の更新や居住環境改善などとあわせて都心居住の定着を図った。

また、アートを配したまちづくりによる都市景観の形成に取り組んだ。

複合開発・浅草の新生所誕生：リバーピア吾妻橋

隅田川の吾妻橋東詰の工場跡地における、UR賃貸住宅リバーピア吾妻橋、墨田区役所の行政棟、アサヒビール業務棟の3棟による複合開発である。隅田川沿いの新しいシンボルとなる都市景観や、水際まで人が立ち寄れる都市広場は、都市再生が生み出す豊かな可能性を示している。ビールのジョッキと泡をイメージしてデザインされた業務棟と、聖火塔の炎をイメージしたピアホールは浅草のシンボルとして定着している。



隅田川再生の先駆け・超高層住宅：

大川端リバーシティ21

工場跡地での居住環境改善と良好な住宅供給を目的として、中央大橋や隅田川沿い親水公園の整備、都心居住を促す住宅・学校・商業施設等の整備を行った区・民間・都公社・公団の四者による共同開発である。オープンスペースが広くとれる超高層住棟と高層住棟による空間構成となっている。人工地盤により、駐車場とオープンスペースを両立させ、都心住宅地に十分な緑量を確保している。道路沿い住区エントランスにはアートを設置し、各住区にアイデンティティを表出する都市デザインを実現した。



隅田川沿いにおける連鎖的な事業の展開



浅草の新生所・ビールのジョッキと泡をイメージした建築デザイン



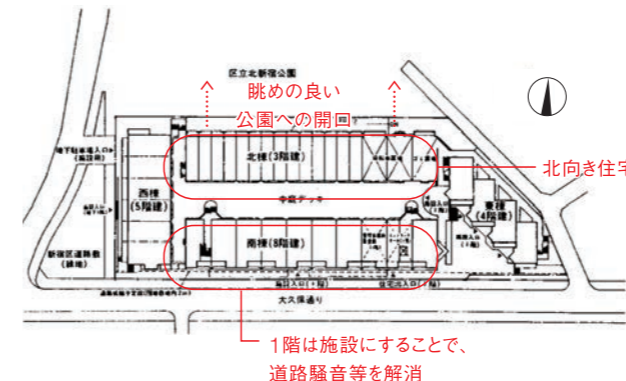
都心の賑わい拠点の創造： 恵比寿ガーデンプレイス

恵比寿駅至近の都心一等地の工場跡地開発である。基盤整備や全体計画、住宅供給を分担した官民共同事業で、デパートやホテル、シネマ、ショッピングモールなどの商業・文化施設と超高層住宅（恵比寿ビュータワー）を併設し、複合高密度の中での新たな魅力を持つ都市空間を創出している。ガーデンプレイス中心部の大屋根広場は活気にあふれ、人々が集まる光景は、東京の新たな界隈空間として定着している。



利便と眺望優先の北向き住宅：北新宿パークハイツ

大久保通りに面する都心住宅である。1棟申請（4棟）で、都心型狭小住戸（33～35㎡）、北向き住宅、中庭デッキ、勾配天井のトップライト、浴室乾燥機、防犯対応（住戸内情報システム）など多様な企画を有している。販売時の抽選倍率は驚異的な145.9倍であった。



アート計画

再開発事業において、屋外空間にパブリック・アートを導入することにより、魅力的な都市景観を創出し、プロジェクトの付加価値を高める新たな可能性を示した。

アートによる街づくり・高層高密度開発：ファール立川

立川駅北口近接地で立川市の開発テーマである「文化とやさしさ」の実現と芸術文化を立川の街角から発信するとの思いから、パブリックアートによるまちづくりを行った。建物の壁面後退により確保した歩行者空間に、換気塔、ベンチ、車止めなどの街の機能をアート化して配置し、まちとアートが一体となった都市景観を創出している。世界36国92人のアーティストによる109作品が街並みにとけ込み、新たな魅力を発信している。



六本木通りの街並みを再生・高層住宅：コラム南青山

県有地建替に伴う都心居住促進のための複合開発である。不整形敷地に合わせた住棟形状とし、六本木通りの街角性に配慮したタイル貼り外観により街並みを形成している。デザイナー型賃貸住宅へのリニューアルを平成18年に実施した。



アートの都市広場・超高層複合開発：新宿アイランド

新宿新都心の北の玄関口に相応しい超高層ビル街の都市生活にとけ込むパブリックアートによる都市広場づくりの試みである。世界的著名作家10名によるアートコレクションを展開した。街角にある「LOVE」は若者達の都市伝説を生んだ。

